

目的

「生徒にとって望ましいスポーツ・文化芸術環境の構築」と「教員の働き方改革の推進」の両立

～中学校の休日の部活動を段階的に地域のクラブ活動に移行～【令和5年度～7年度：部活動改革推進期間】

背景

- ・近年、深刻な少子化が進行し中学校生徒数の減少が加速化するなど、部活動の持続可能な運営が困難
- ・競技経験のない教員が指導せざるを得なかったり、休日も含めた部活動の指導が求められたりするなど、教員にとって大きな業務負担

【令和5年度の主な成果】

- ①検討組織の設置：35/35市町村
- ②休日に地域移行が進んでいる部活動数：運動328/984部・文化60/190部
- ③部活動の任意加入制（中学校）：63/95校（R4：42/95校）
- ④部活動の精選等により廃部となった競技について、クラブへ参加することで大会参加可能

【令和5年度の主な課題】

- ①単独で地域移行が困難な市町村での取組み（広域的な連携）
- ②地域クラブ等における指導者の不足（指導者の人材確保と資質向上）
- ③将来にわたって持続可能なクラブ経営のための方策（受益者負担の在り方・マネジメントするリーダーの育成）

令和6年度取組み・対応	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1 「山形県における学校部活動及び地域クラブ活動の在り方に関する方針」（仮称）の策定 ◆策定時期：12月予定 ◆有識者による部活動改革推進協議会		周知 主管課長会議	○意見聴取 対象：協議会委員			実態把握 状況調査①	推進協議会①	実態把握 状況調査②	方針策定	推進協議会②		
2 スポーツ庁・文化庁委託事業の推進 ◆市町村による実証事業（24市町村） ◆部活動指導員の配置（中学校95校・113名）			○各市町村実証事業 ・関係団体との連携調整等の取組（コーディネーターの配置・検討組織の設置等） ・クラブ活動のモデル構築（地域スポーツクラブ活動の実証・収支構造の検証等）									
3 広域的な連携の取組みへの支援 ◆県アドバイザーの配置 ◆ワークショップの開催（各地区）			○好事例等の情報提供 ○市町村の状況に応じた支援 ・個別の相談への助言 ・各市町村のニーズとリソースの把握、ワークショップの開催による連携に向けた調整支援									
4 指導者の人材確保と資質向上 ◆指導者研修会（受講者への修了証の発行） 〈県スポーツ協会と連携〉 ◆リーダーバンクの登録促進 〈県広域スポーツセンターと連携〉							○指導者研修会 ・4地区各1～2回					
								受講促進 ↑			↓ 登録促進	
			○「リーダーバンクやまがた」への登録促進（スポーツ関係団体を通じた働きかけ・各種研修会等での周知等）									